みやぎ税務会計事務所通信

≪ 2022 年 10 月 ≫

MIYAGI TAX & ACCOUNTING OFFICE

経営を考えよう

経営者なら意識しておきたい「外（金融機関）」からの評価

今月は 税務の話題 をお休みします

「売上は多い方が良いけど、税金は（できれば）払いたくない！」
と思いながら、毎期の成績（損益計算書）を見ていませんか？
「自分が創った会社なんだから、全て自分のもの！」と会社のお金を使っていませんか？
――これらの考え方、実はとても危険です…。

いつでもお金が出る“打ち出の小槌”をお持ちの方は心配ないのですが、
多くの事業者は、金融機関とお付き合いしているのが現実だと思います。
ただ、お相手も“慈善事業”ではなく“ビジネス”です。
「付き合いたいと思わせる自分」を少し意識してみませんか。

+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+

ポイント①　金融機関には「融資する基準」がある！

これは、金融機関の“感覚”ではなく、「格付け」といわれ“順位付け”されるものです。
この順位付けによって、貸す？貸さない？ 金利は？ 期間は？ 担保や連帯保証はどうする？
といった条件が判断されることになります。

ポイント②　「債務者区分」という評価

金融庁では右の６区分に分けており、これをもとに
金融機関も判断をおこなっているようです。

下位よりは上位が良い…ですよね。
実際、融資を受けることができるのは
「１．正常先」と「２．要注意先」の上位…です。

＜債務者区分＞

１．正常先	融資可能
２．要注意先	慎重な審査が必要
３．要管理先	
４．破綻懸念先	融資不可
５．実質破綻先	
６．破綻先	

ポイント③　“財務情報”は重要視されている！

項目区分	項目数	配点割合
１．安全性	４項目	29%
２．収益性	３項目	15%
３．成長性	３項目	21%
４．返済能力	３項目	35%

「事業性評価」という、財務諸表に現れない
“非財務情報”を評価する方法も評価の１つですが、
それでも融資に際しては、現実に現れる数字
＝“財務情報”が判断の大半を占めるようです。
その財務情報を使って計算される評価項目を
意識することも大切です。

［具体的な項目は裏面で！］

遠距離限定！オンライン顧問契約プラン実施中！　みやぎ税務会計事務所　ラクホＳ